

# 使う人にとって「良い建物」であるために 長く可愛がってもらえる設計を心がける

## 塚本建築設計事務所

埼玉県熊谷市万吉 1327-1

TEL 048-536-6195

URL : <http://www7.plala.or.jp/TSUKA-ARCHITECT/>



代表／一級建築士 **塚本 勝也**

「塚本建築設計事務所」は、一般住宅から公共施設まで幅広い建物の設計を手掛けている。一般住宅ではそこに住む人が快適に過ごせる空間を目指し、施設などでは、不特定多数の人が滞りなく使える設計を心がける。使う人にとっての「良い建物」を目指す塚本代表のもとを村野武範氏が訪問し、お話を伺った。

まずは、塚本代表の歩みからお聞かせいただけますか。

私の両親は八百屋を営んでいました。店が玄関という感じだったので、「玄関がある家に住みたい」というのが母の口癖でした。それで、「ならばいつかは自分がそうした家をつくりたい」という思いをほんやりと持っていたんです。また、高校生時代に友人の家に遊びに行った際、建築の雑誌を見てきれいな建築物に憧れを持ったこともありました。そうして建築関係の大学に進み、卒業後は都内の設計事務所に就職したんです。そこでしっかりと仕込んでいただき、1997年に「塚本建築設計事務所」を設立しました。

—— 独立してから最初に手掛けられた建物は、いかがでしたか。

私が最初に手掛けさせていただいたのは、動物病院でした。まだお仕事をいただけるかわからない段階で先生とお会いしたのですが、「とりあえず今自分でできることを」と、正面のデザインや看板のデザインを洋風、和風と色々考えて行って行ったんです。お話を伺いながらそのデザインをお見せしたら、「是非に」と言っていたので動物病院を見学させてもらい、勉強させて

いただきました。

—— お客様のお話を聞いて、すぐにイメージができるものなのですか。

お話を聞いている時にアイデアが浮かんでくる時もありますし、全然浮かばない時もあります。浮かばない時は色々な情報を集めて整理し、その中でどうするか考えていくので、お客様とのコミュニケーションは欠かせません。お客様の希望は、具体的にでないもののほうが強かったりするんです。そういう時は、できるだけ自分に置き換えて考えます。自分が居心地が良いと思わない建物は、お客様も良いとは思ってくれないと思いますから。

—— お仕事をやる中で、大事にされていることは何でしょうか。

大きく分けて2種類あります。住宅など、使う方が限定される場合はその方たちにとって一番の建物になるように。その個人がどう思ってくれるかをできるだけ優先します。そして、公共の施設など、不特定多数の人が使用する建物は、できるだけ誰が来ても使いやすいように。ただ普通に使用されているというのが一番使いやすい建物だと思おうので、それを念頭に置いて設計します。デザイン性を出し過ぎると自己満足になりますし、全く出さないと今度はオリジナリティーがなくなってしまうんです。これではお客様のオリジナリティーも活かさなくなってしまうので、せっかく注文設計をさせていたいただいている良さが半減してしまうのです。

—— お話を聞いていると、代表は本当にお客様に寄り添った設計をされていますね。

建物は特に長く使うものですから、住んでいる方も年齢と共に考え方や使い方が変

わってきます。それはそれで良いと思っておりますが、ベースとなるものは大切にしたい。そのベースを作る上でお客様にも携わっていただくことによって、長く可愛がってもらえる建物を作りたいのです。

—— 最後に、今後の目標は？

とにかく自分が今まで携わってきた建物が、私が生きている間は健やかに残ってくれたらいいなという気持ちがあります。使ってくれる人にとっての「良い建物」を作り続けることが目標で、それが責任でもありますね。住んでいる方が安心できる、笑顔でいられる、そういう建物の携わり続けていきたいです。

### after the interview



「塚本代表は監理もにりう責安のらを  
行、建物かっるか  
な、まていうのい  
見届す。お客でい  
で感がそんこ建  
心を生ね。良建  
作すす『良い  
り続下

村野 武範  
(俳優)

